

# 山村フォトニクス旧NEC真空硝子は 鈴木さんの雇用延長を決断せよ！

## 電機ユニオンが第9回目の団体交渉

電機ユニオンは7月14日、山村フォトニクス（7月から新社名・旧NEC真空硝子）と鈴木喜美子さんの雇用延長問題に関する第9回目の団体交渉を行いました。

### 雇用延長は、モチベーションのアップにつながる

会社は「構造改革の中にあり、賃金5%カットを続けていること、一時金も抑えていることなどを早く解消したい。そのためには出来るだけ出費をおさえる」と事情を説明しました。

それに対して電機ユニオンは「鈴木さんが雇用延長をしても、会社の出費が増えることは無い。逆に雇用延長を行えば、60歳以降も雇用してくれるのだと会社を見直し、社員のモチベーションも上がる。社会的にも企業のイメージアップにつながる。早く鈴木さんの雇用延長を認めるべきだ」と、迫りました。

また、電機ユニオンは、日本山村硝子の株主総会でのやり取り（裏面に詳報）を伝え、日本山村硝子の動向などを問いただしました。会社からは、山村社長が発言した鈴木さんの雇用延長の調査についてはまだ実行されていないとの返答がありました。

### “企業は人なり”の第一歩は

山村フォトニクスは、日本山村硝子グループの一員になったのですから、今までのNECのしがらみから離れ、日本山村硝子が提唱する“企業は人なり”の企業風土を築くために力を注ぐべきです。

その第一歩は、鈴木さんの雇用延長を認める決断ではないでしょうか。

鈴木さんの雇用延長については、会社からは今回も「検討中」という回答で具体的な進展はありませんでしたが、会社から、「日本山村硝子の子会社になったので同社の延長制度について研究したい」の回答も出されました。会社に決断させるために、職場内外のみなさんのご支援をよろしく願いいたします。

### 鈴木さんの雇用延長を認めよ



### 定年を迎えられたことを嬉しく思います

これまで電機ユニオンとの団体交渉に参加してきたS部長が6月で定年退職を迎えました。

送別会でSさんは「みなさんのお陰で定年を迎えられたことを嬉しく思います」と喜びを語られたそうです。Sさんは、昨年と今年の特別転進支援制度という人減らしリストラで、退職勧奨・強要を行い、数十名を退職させた中心人物の一人です。

退職した人の多くは「定年までNEC真空硝子で働き続けたかった」との思いを胸にして職場を去りました。

Sさんは定年退職に当たり、それらの人たちの胸中に思いをめぐらしたのでしょうか。

NEC & 関連労働者ネットワーク 2010年7月

# ELICNEC

(連絡先) 田町: 山崎 栄一 042-729-8084  
玉川: 森 英一 090-4834-6876  
府中: 益田 武廣 080-3389-0028  
ELIC NEC URL: <http://www.elicnec.com/>

# 日本山村硝子の株主総会で リストラ、雇用延長問題を要望！

日本山村硝子の株主総会が6月25日に開かれ、「NEC真空硝子の鈴木喜美子さんの雇用延長をめざす支援連絡会」の中山代表も参加しました。中山代表は、NEC真空硝子に関連する質問・要望を行い、見解を求めました。株主総会での質疑の要旨を紹介します。

## 三度、首切りはしないように

中山代表：昨年2月に続いて今年5月にも特別転進支援制度が実施され、多くの人員削減が行われた。再就職が困難な時期にこれほど多くの退職者が出たことからもどれほど酷い退職強要が行われたかが想像できると思う。また、多くの従業員はこの業績不振の責任を負うべき管理職が責任を取らず、その多くがNECからの天下りであることに怒っている。

このリストラについて職場では、日本山村硝子からの指示で行われたという声が出ているが実際はどうか。経営理念の1つに「事業は人なり」を掲げておられる日本山村硝子としては、その子会社化にあたって三度首切りはしないということを明らかにしてもらいたい。

山村社長：NEC真空硝子の人員削減については承知していたが、経営の判断でやられたもので、私どもの方から人数をどうしろと申し上げたことはない。従業員の不満についてのご指摘を頂いたが、近々子会社にしたいと考えており、そうなった場合にも私どもなりの経営手法で雰囲気改善に取り組んでいきたい。人員確保については、その重要性について認識して経営にあたっている。NEC真空硝子についても同様だ。

## 基本は、高齢者の経験や技術を活かすこと

中山代表：日本山村硝子の雇用延長制度では、対象者は希望する人となっているが、NEC真空硝子では条件をつけている。私どもの電機ユニオンに雇用延長を拒否された女性が加入し、この1年余会社と団体交渉をしているが解決していない。会社は「この問題を軽視している訳ではないが、重要な案件が次々起きて検討できていない」と回答している。我々は今後とも会社との話し合いで解決したいと考えている。事実を調査の上ご指導をお願いしたい。日本山村硝子グループとして、雇用延長に関する基本的な考え方について明らかにして頂きたい。

山村社長：雇用延長について基本的な考え方は、高齢者の経験や技術を活かしたいということで、用意できる仕事を考えている。これは日本山村硝子としての方針であり、子会社ではそれぞれの就業規則でやっている。NEC真空硝子の雇用延長問題については子会社化した後、調査したい。

## NECグループのみなさん、協力会社のみなさん。お気軽にご相談ください

NECグループでの職場の問題、声、労働者のたたかいを知りたい方は、

下のELICNECホームページにいますぐアクセス！

<http://www.elicnec.com/>

### 日本山村硝子の継続雇用制度

(目的)

第1条 高年齢者の技術・技能を活かし、グループ内での人材の有効活用を図る。

(対象者)

第2条 満60歳の定年を迎え、本人が継続雇用を希望する者とする。

(賃金)

日勤 年収 約193万円

三交代 年収 約233万円

(勤務日、所定労働時間)

日勤 20日/月、7時間45分/日

三交代 21日/月、7時間10分/日

アクセス33万件